

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
430	種子島の砂浜海岸とサンゴ礁	鹿児島県	西之表市、熊毛郡中種子町・南種子町	砂浜、サンゴ礁	サンゴ	種子島大塩屋港	種の多様性が高く、希少種を含む。
					サンゴ	種子島熊野港	種の多様性が高い。
					サンゴ	種子島住吉	希少種を含む。
					ウミガメ	西之表市海岸	アカウミガメの繁殖地。2000年の鹿児島県の調べでは、53回の産卵が報告されている。
					ウミガメ	長浜海岸	アカウミガメの繁殖地。2001年の調査で200以上の産卵が記録され、今後が注目される。
431	種子島のマングローブ林（湊川、大浦川）	鹿児島県	西之表市、熊毛郡南種子島町	マングローブ林	マングローブ林	湊川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。
					マングローブ林	大浦川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。
432	イッソウ一湊川のカワゴケソウ類自生地	鹿児島県	熊毛郡上屋久町	河川	水草	一湊川のカワゴケソウ自生地	カワゴロモが自生する。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育することは世界的に見てもきわめて稀。一湊川（ヤクシマカワゴロモ）
433	屋久島（ ^{ミヤノウラ} 宮之浦川）	鹿児島県	熊毛郡屋久町・上屋久町	河川	淡水魚類	屋久島（宮之浦川）	本州要素のアユの南限生息地。
434	屋久島西部海岸	鹿児島県	熊毛郡屋久町・上屋久町	砂浜、浅海域	ウミガメ	屋久島西部海岸	北太平洋で最もアカウミガメが高密度で産卵する砂浜およびそこに至る海域。
435	屋久島栗生塚崎	鹿児島県	熊毛郡屋久町	サンゴ礁	サンゴ	屋久島栗生塚崎	種の多様性が高い。
436	栗生川	鹿児島県	熊毛郡屋久町	マングローブ林	マングローブ林	栗生川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。
437	屋久島花之江河周辺 ^{ハナノエゴウ}	鹿児島県	熊毛郡屋久町	高層湿原	湿原植生	屋久島花之江河周辺	南限の高層湿原。
					爬虫両生類	屋久島花之江河周辺	ヤクシマタゴガエル(日本固有亜種)の生息地。
					淡水貝類	花之江河	ハバマメシジミの模式および唯一の生息地。
438	コシキ ^{ナマコ} 甌島周辺沿岸（海鼠池、貝池を含む）	鹿児島県	薩摩郡上甌村・里村・鹿島村・下甌村	海跡湖、藻場、浅海域	海藻	上甌島海鼠池	マメタワラ類似種が生育するとされる。砂洲(?)によって外海と隔離された特殊な環境。1970年からの磯焼け発生後に、まとまった規模で残された藻場として重要。なお、台湾澎湖島で産卵したアオウミガメを衛星で追跡したところ、甌島周辺海域にしばらく留まっていたことが明らかになっている。調査結果次第ではアオウミガメの採食藻場がある可能性もあり、要注目。
					底生動物	海鼠池、貝池	人為的影響の少ない海跡湖。ミヤコドリ(貝)の数少ない生息地の一つ。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
439	奄美大島南部の渓流域	鹿児島県	大島郡大和村・宇検村・住用村・瀬戸内町	河川	爬虫両生類	奄美大島南部の渓流域	アマミハナサキガエル(日本固有種)、オットンガエル(日本固有種)、イシカワガエル(日本固有種)、ガラスヒバア(日本固有種)、ヒメハブ(日本固有種)、イボイモリ(日本固有種)、シリケンイモリ(日本固有種)の生息地。
					昆虫類	奄美大島南部の渓流域	エグリタマミズムシ(絶滅危惧類)、アマミダルマガムシ、アマミチビミズムシなどの固有の昆虫が多い。
440	スミヨウ住用湾流入河川および河口部(住用川・役勝川河口および城ウナイ内海)	鹿児島県	大島郡住用村	マングローブ林、河川	マングローブ林	城内海	メヒルギ、オヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。
					マングローブ林	住用川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					マングローブ林	役勝川	メヒルギ、オヒルギ、サキシマスオウノキ、シマシラキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					淡水魚類	住用川	キバラヨシノボリ、リュウキュウアユの生息地。
					甲殻類	住用村のマングローブ湿地と流入河川	住用村の住用川と役勝川の河口には、マングローブが大規模に発達している。両河川にはRDB記載の絶滅危惧種リュウキュウアユ(淡水魚類)が生息し、マングローブ周辺が冬場の稚魚の成育場所になっている。また、そこは川と海とを行き来して生活する甲殻類や魚類の稚仔魚や幼生の成育場所になっている。また両流入河川には、RDB記載種のリュウキュウサワガニ・サカモトサワガニ・アマミナミサワガニなどが生息している。
底生動物	住用川河口	広大なマングローブ林を擁し、林内には希少巻貝類を多産する。					
441	住用村の止水域	鹿児島県	大島郡住用村	ため池	昆虫類	住用村の止水域	ハネナガチョウトンボ。日本唯一の生息地。1993年に発見され数も少なくないが、以前からいたものなのか、南方から飛来して土着したものなのかは不明。
442	カサリ笠利湾	鹿児島県	大島郡笠利町・龍郷町	浅海域	底生動物	笠利湾	潮間帯でシャミセンガイ類が見られる日本で唯一の場所。ドロアワモチ、タテジマコムシ、ヒメギボシムシなど貴重種の多様性がきわめて高い。
443	勝浦川下流域の農業用水系	鹿児島県	大島郡瀬戸内町	水路	淡水貝類	勝浦川下流域の農業用水系	アマミカワニナ(絶滅危惧類)、カノコガイ類の生息地。
444	徳之島山地水域	鹿児島県	大島郡徳之島町・天城町・伊仙町	河川	昆虫類	徳之島山地水域	エグリタマミズムシ(絶滅危惧類)を産する。
					爬虫両生類	徳之島山地水域	アマミハナサキガエル(日本固有種)、アマミアオガエル(種として日本固有)、イボイモリ(日本固有種)、オビトカゲモドキ(種として日本固有)の生息地。
					甲殻類	秋利神川と流域	秋利神川は徳之島の川で最も流程が長く、上流部は自然が残っている。この川と川岸にはRDB記載の甲殻類が3種(リュウキュウサワガニ・サカモトサワガニ・アマミナミサワガニ)、魚類では希少種のキバラヨシノボリが、それぞれ生息しているので、流域全体が重要。
445	徳之島神之嶺、カンニシ港	鹿児島県	大島郡徳之島町	サンゴ礁	サンゴ	徳之島神之嶺、カンニシ港	種の多様性が高い。
446	ヤカタカタバル屋嘉田潟原	沖縄県	国頭郡恩納村	塩性湿地、藻場	底生動物	屋嘉田潟原	塩性湿地から海草藻場までの生息環境が残され、底生動物の種の多様性も高い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
447	オククビ 億首川流域	沖縄県	国頭郡金武町	マングローブ林	マングローブ林	億首川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					昆虫類	億首川流域	下流の並里から漢那ダムを含めた喜瀬武原にかけての1帯である。もっとも良好な湿地は米軍基地内にあるが、周辺地域（基地外）にも湿地的環境があちこちにみられる。かつて、タガメやタイワンコオイムシが記録された沖縄では数少ない地域の一つで、現在でもヒメミズカマキリ（沖縄県RDBの希少種）、トゲミズギワカメムシなど水生半翅類も多い。
					底生動物	億首川河口	河口干潟から前浜干潟までの様々な生息環境を擁し、それにとまって底生動物の種の多様性が極めて高い。護岸工事等の人為的な破壊が、沖縄本島の中では、比較的少ない、自然度の高い河口域である。
448	ヤンバル河川群	沖縄県	国頭郡国頭村・大宜味村・東村	河川	淡水魚類	ヤンバル河川群	キバラヨシノボリ、アオバラヨシノボリ、アヤヨシノボリ、ヒラヨシノボリなどヨシノボリ類固有種が多種生息する。
					爬虫両生類	ヤンバルの渓流域	ナミエガエル(日本固有種)、ハナサキガエル(日本固有種)、イシカワガエル(日本固有種)、リュウキュウヤマガメ(日本固有種)、ホルストガエル(日本固有種)、イボイモリ(日本固有種)、シリケンイモリ(日本固有種)、クロイワトカゲモドキ(種として日本固有)の生息地。
					昆虫類	ヤンバル河川群	カラスヤンマ、オキナワミナミヤンマ、オキナワサラサヤンマ、リュウキュウカトリヤンマ、リュウキュウトンボ、オキナワコヤマトンボ、オオハラビロトンボ、アオビタイトンボなどの生息地。
449	沖縄本島東沿岸（ ^{ハノコ} 辺野古～漢那）	沖縄県	名護市、国頭郡宜野座村	藻場	海草	沖縄本島東部沿岸（辺野古～漢那）	ボウバアマモ、リュウキュウアマモ、ベニアマモなどの大きな群落。アマモ類を餌にする特別天然記念物のジユゴンは、この海域で発見例が多い。沖縄島北東部の沖には藻場が存在し、そこにアオウミガメの大規模な餌場があるらしいことがこれまでの調査から推定される。
450	キンバル 慶武原川	沖縄県	国頭郡宜野座村	マングローブ林	マングローブ林	慶武原川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。
451	^{ゲサン} 東村の慶佐次マングローブと流入河川	沖縄県	国頭郡東村	マングローブ林、河川	マングローブ林	慶佐次川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。国天然記念物。
					甲殻類	東村の慶佐次マングローブと流入河川	慶佐次マングローブはすでに国の特別天然記念物に指定されているが、汽水性の新種のテッポウエビ類(4種)やミナミトビハゼやトビハゼなどの魚類も多い。流入河川にはRDB記載種(アラモトサワガニ・サカモトサワガニ・オキナワミナミサワガニ)が生息しているので、流域全体が重要。
452	キショカ 喜如嘉（水田地帯）	沖縄県	国頭郡大宜味村	水田	昆虫類	喜如嘉（水田地帯）	喜如嘉集落付近から広い谷沿いの地域で、水が豊富で水田や休耕地が多くみられる。トンボ類、水生半翅類の多様性が高く、個体数も多い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
453	大浦湾および大浦川	沖縄県	名護市	マングローブ林、河川	マングローブ林	大浦川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の種の多様性が高い。市天然記念物。
					昆虫類	大浦川・湾	大浦川の上流域ではリュウキュウハグロントンボ、オキナワリモントンボ、カラスヤンマ等の注目すべきトンボ類をはじめとした流水性昆虫が豊富である。また、マングローブ林前後の水溜まりには止水性昆虫の種の多様性が高い。汽水域に生息するキバナガミズギワゴミムシの生息地。
					底生動物	大浦湾	マングローブ林内にシマカノコ、マングローブアマガイ、オイランカワザンショウ、カタシノノミミガイ、ゴマセンベシアワモチなどの危急種が多い。
454	ヤガジ屋我地（羽地内海を含む）	沖縄県	名護市	干潟、マングローブ林	マングローブ林	羽地内海（饒平名）	メヒルギ、オヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					マングローブ林	羽地内海（我部）	メヒルギ、オヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					その他鳥類	屋我地	ベニアジサシ、エリグロアジサシの繁殖地。シギ・チドリ類の渡来地。
					底生動物	羽地内海	希少巻貝の多様性が極めて高い。オオズングリアゲマキの国内唯一の生息地。ミニカドカドも世界唯一の生息地。
455	アミスガー・ハマサ	沖縄県	国頭郡今帰仁村	湧水	淡水藻類	アミスガー	絶滅危惧 類のシマチスジノリ（紅藻）が生育。
					淡水藻類	ハマサ	絶滅危惧 類のシマチスジノリ（紅藻）が生育。
456	ミンナ水納島周辺沿岸	沖縄県	国頭郡本部町	サンゴ礁	サンゴ	水納島	裾礁。種の多様性が高い。
457	残波岬地先沿岸	沖縄県	中頭郡読谷村	サンゴ礁	サンゴ	残波岬	裾礁。種の多様性が高い。
458	藪地島周辺沿岸	沖縄県	中頭郡与那城村	藻場	海藻	藪地島周辺沿岸	ホンダワラ属、クビレミドロ（絶滅危惧 類）の最大の生育地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
459	中城湾	沖縄県	中頭郡勝連町・北中城村・中城村、具志川市、沖縄市、島尻郡与那原町・佐敷町	海岸湿地及び干潟、藻場	海草、海藻	中城湾北部（泡瀬、久場沖など）	沖縄島東岸（太平洋）側の大きな海草藻場。リュウキュウスガモ、リュウキュウアマモ、ベニアマモなど海草8種からなる。イソスギナ。熱帯産のヒメウミヒルモの日本では数少ない生育地。泡瀬干潟にはクビレミドロ（絶滅危惧類）が生育。
					シギ・チドリ類	泡瀬干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、ムナグロでは最小推定個体数の1%以上、キアシシギでは0.25%以上が記録されている。ムナグロの越冬数は日本最大である。RDB種のアカアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					昆虫類	中城湾北部	キバナガミズギワゴミムシ、ケシウミアメンボなどが生息する。
					底生動物	泡瀬～川田～勝連町南原～北中城村～中城村（中城湾北域）	中城湾はトカゲハゼ、キララハゼの日本唯一の生息地であり、トビハゼ、マサゴハゼの日本での分布南限地。ナカグスクオサガニの日本唯一の生息地。泡瀬は特に希少貝類が豊富。
					海藻	中城湾南部	ヒジキ（南限、葉が紡錘形ではなく扁平）、フタエヒイラギモク、ボタンアオサ（群落を形成）、ハイテングサ（群落を形成）シオグサ属の1種（未記載種、淡水産のカモジシオグサと近縁、潮間帯上部の淡水がしみ出る場所に生育、他の地域では分布が確認されていない）
					シギ・チドリ類	佐敷干潟	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。RDB種のアカアシシギが記録されている。
					甲殻類	中城湾と干潟	中城湾は好漁場になっていて、有用魚介類の放流も行われている。この湾の南の佐敷町から与那原町にかけての砂泥干潟には絶滅危惧種のトカゲハゼや地域個体群のシオマネキが生息している。しかし、近年干潟の埋め立てが進行し、これらの貴重種の生存が危惧されているため、要注目。
					底生動物	与那原海岸～佐敷（中城湾南域）	中城湾はトカゲハゼ、キララハゼの日本唯一の生息地であり、トビハゼ、マサゴハゼの分布南限地。ミナミオサガニ、シモフリシオマネキなどのカニ類やコハクオカミミガイ、イチョウシラトリなどの貝類に貴重種が多い。
460	漫湖 ラムサール条約登録湿地	沖縄県	那覇市	河口干潟、マングローブ林	シギ・チドリ類	漫湖	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、ムナグロ、メダイチドリ、ダイシャクシギ、キアシシギ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のアカアシシギ、セイタカシギ、ホウロクシギが記録されている。
					その他鳥類	漫湖	クロツラヘラサギ、ズグロカモメの渡来地。
					甲殻類	漫湖	干潟にはゴカイ類・二枚貝類・オサガニ類などが多く、渡り鳥の格好の餌になっている。2000年の調査でアシハラガニモドキの仲間のヒメアシハラガニモドキが湾と陸との境から発見された。このカニは日本初記録種である。
					底生動物	漫湖	絶滅危惧種が数多く記録される。特にモモイロサギガいの国内唯一の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
461	具志干潟～大嶺岬周辺沿岸	沖縄県	那覇市	干潟	シギ・チドリ類	具志干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、キアシシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のアカアシシギ、セイタカシギ、ホウロクシギが記録されている。
					昆虫類	具志干潟～大嶺岬	岩礁地帯の潮間帯にはキバナガミズギワゴミムシが生息する。
					底生動物	具志～大嶺	絶滅危惧種が数多く記録される。
462	ヤフソウガ 屋富祖井	沖縄県	島尻郡具志頭村	湧水	淡水藻類	屋富祖井	絶滅危惧 類のシマチスジノリ（紅藻）が生育。
463	与根干潟	沖縄県	島尻郡豊見城村	干潟	底生動物	与根干潟	オオツヤウロコガイ、コハクオカミミガイ、イチョウシラトリなどの希少種が18種も生息する。
464	瀬底島の小湿地および周辺沿岸	沖縄県	国頭郡本部町	藻場、湿地	海草	瀬底島地先沿岸	ウミヒルモ、ヒメウミヒルモ（トゲウミヒルモ）の生育地
					爬虫両生類	瀬底島の小湿地	イボイモリ(日本固有種)、シリケンイモリ(日本固有種)、クロイワトカゲモドキ(種として日本固有)、オキナワアオガエル(種として日本固有)の生息地。
465	塩川	沖縄県	国頭郡本部町	藻場	海藻	塩川	アマアオサ、シオカワモッカ（沖縄県の危急種）。塩川（塩分の高い川）は天然記念物。アオサ場。
466	セーファウタキ 斉場御獄	沖縄県	島尻郡知念村	その他の湿地	爬虫両生類	斉場御獄	クロイワトカゲモドキ(種として日本固有)、シリケンイモリ(日本固有種)、オキナワアオガエル(種として日本固有)、ヒメハブ(日本固有種)、ハイ(日本固有種)の生息地。
467	トナキ 渡名喜島周辺沿岸	沖縄県	島尻郡渡名喜村	サンゴ礁	サンゴ	渡名喜島	裾礁。種の多様性・自然度が高い。
468	南大東島の池と洞窟群	沖縄県	島尻郡南大東村	マングローブ林、湖沼、地下水系	マングローブ林	大池	オヒルギ群落。
					昆虫類	南大東島の池	池にはコフキオオメトンボやヒメミズカマキリが生息する。
					甲殻類	南大東島の池と洞窟群	南大東島はかつて環礁であったのが隆起した「隆起環礁」の島で、鍋底状の中央部には大小の池が発達している。大池周辺にはオヒルギが生育し、国の天然記念物に指定されている。また、この島には多くの洞窟が発達し、水のある洞内には危急種のドウクツヌマエビとオハグロテッポウエビおよび希少種のアシナガヌマエビが、それぞれ生息している。
469	慶良間諸島渡嘉敷島の山地水域	沖縄県	島尻郡渡嘉敷村	河川、その他の湿地	爬虫両生類	渡嘉敷島の山地水域	リュウキュウヤマガメ(日本固有種)、ホルストガエル(日本固有種)、イボイモリ(日本固有種)、シリケンイモリ(日本固有種)、マダラトカゲモドキ(種として日本固有)の生息地。
470	慶良間諸島周辺沿岸	沖縄県	島尻郡座間味村・渡嘉敷村	サンゴ礁、砂浜、浅海域	サンゴ	慶良間諸島	裾礁。種の多様性が高く、希少種を含む代表的な地域。幼生供給源として重要。自然度が高い。
					ウミガメ	慶良間諸島屋嘉比島および久場島周辺海域	屋嘉比島はアオウミガメ、アカウミガメの重要な産卵地であるとともに、アカマタ(ナミヘビ科の1種)がふ化幼体を食べに海岸に降りてくるといふ、貴重な生態が見られる。また、周囲のサンゴ礁も発達している。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
471	久米島の溪流・湿地	沖縄県	島尻郡具志川村、仲里村	河川、その他の湿地	昆虫類	久米島白瀬川流域	クメジマボタルの生息地。
					爬虫両生類	久米島の溪流・湿地	キクザトサワヘビ(日本固有種)、リュウキュウヤマガメ(日本固有種)、ヤマシナトカゲモドキ(種として日本固有)の生息地。
472	ヤビシ八重干瀬	沖縄県	平良市	サンゴ礁	サンゴ	八重干瀬	離礁。自然度が高い。
473	宮古島中北部の湿地	沖縄県	平良市	その他の湿地	爬虫両生類	宮古島中北部の湿地	ミヤコヒバア(日本固有種)、ヒメヘビ(日本固有種)、ミヤコヒキガエル(日本固有種)の生息地。
474	宮古島の洞窟群と湧泉群	沖縄県	平良市、宮古郡城辺町	地下水系	甲殻類	宮古島の洞窟群と湧泉群	宮古島は河川が少ないかわり、地下河川がよく発達している。また、有水の洞窟が多く、そこにはレッドデータブック記載の2希少種(アシナガヌマエビ・サキシヌマエビ)、平良市保全種のオカガニ、宮古島固有で平良市保全種のホリアナメシジミなどが生息している。また、近年城辺町の湧泉から新種のサワガニが発見されている。
475	池間島湿原と周辺サンゴ礁	沖縄県	平良市	干潟、サンゴ礁、その他の湿地	昆虫類	池間湿原	宮古諸島の中では、水生昆虫が豊富な場所で、貴重な環境である。リュウキュウベニイトトンボ、ムスジイトトンボ、台湾ウチワヤンマ、アオビタイトンボ、アメイトトンボ、セスジアメンボ、チビコツブゲンゴロウ、コクロヒラタガムシ、クロヒラタガムシ他、確認された水生昆虫は多い。中でもヒメフチトリゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウ、トビイロゲンゴロウのような大型種が多く生息できる自然の良好な池である。
					甲殻類	池間島湿原と周辺サンゴ礁	池間島湿原は、かつて海水が流入する内湾であったが、漁港工事に伴って湾口が閉ざされて淡水化した。その後、水草が繁茂し湿地の大半が埋まり、北西部に淡水域が残っている。そこには、トンボ類や外来種のテラピアやグッピーが繁殖し、カモ類やサギ類などの渡り鳥の餌場や休憩地になっている。また、湿地とその周辺には平良市の保全種になっているオカガニが多く生息している。このオカガニは6～10月にかけての満月前後に、ゾエア幼生を海に放しに大群で降海する習性がある。砂礫干潟には、RDB記載種のルリマダラシオマネキが生息している。池間島の海岸や海域は真っ白な砂浜とサンゴ礁が発達しているの、海域も含めた地域が重要。
476	島尻入江	沖縄県	平良市	マングローブ林	マングローブ林	島尻入江	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林(生態系)の代表的・固有的な分布地。
					甲殻類	宮古島の島尻のマングローブ	島尻のマングローブは、宮古島では最も規模が大きく、近年土砂の堆積が進行し、樹木も広がっている。そこにはノコギリガザミ類やミナミクロダイなどの有用水産動物が多い。
477	宮古島東部(アガリヘンナザキ東平安名崎)沿岸	沖縄県	宮古郡城辺町	藻場	海藻	宮古島東部(東平安名崎)	ホンダワラ属(亜熱帯域の大規模なガラモ場として重要)。
478	カデカリ嘉手刈入江	沖縄県	宮古郡下地町	マングローブ林	マングローブ林	嘉手刈入江	メヒルギ、オヒルギ、ヒルギダマシの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林(生態系)の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
479	与那覇湾およびその周辺	沖縄県	平良市、宮古郡下地町	干潟、藻場、浅海域	海草、海藻	与那覇湾沖（与那覇湾および来間島との間の海域）	（与那覇湾）リュウキュウスガモ、リュウキュウアマモなど8種の海草の混生藻場。ウミヒルモの生育地。クビレズタ（北限）。なお、与那覇湾の岩礁性海岸にミヤコトカゲ（爬虫類）生息。
					シギ・チドリ類	与那覇湾沿岸	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ムナグロでは最小推定個体数の1%以上、メダイチドリ、チュウシャクシギ、ダイシャクシ、キアシシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のコシャクシギ、アカアシシギが記録されている。
480	イラブ伊良部島の入江	沖縄県	宮古郡伊良部町	マングローブ林	マングローブ林	伊良部島の入江	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。
481	平久保半島北東沿岸	沖縄県	石垣市	サンゴ礁	サンゴ	平久保半島北東岸	裾礁。種の多様性が高い。
482	嘉良川	沖縄県	石垣市	マングローブ林	マングローブ林	嘉良川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
483	フキドウ吹通川河口域およびその沿岸	沖縄県	石垣市	マングローブ林、藻場	マングローブ林	吹通川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					海草	吹通川河口沿岸	石垣島でウミショウブの分布が確認されている貴重な場所。8種（ウミショウブ・リュウキュウスガモ・リュウキュウベニアマモ・ベニアマモ・ボウバアマモ・ウミヒルモ・ウミジグサ・ホソバウミジグサ）の海草の混生藻場の最も外側、礁縁に近い場所にウミショウブが生育。ベントスについても予備的調査あり。熱帯性海草藻場で日本（太平洋）におけるウミショウブの分布最北端
					昆虫類	吹通川河口域	モモアカナナホシキンカメムシが多産する。
					甲殻類	吹通マングローブと流入河川	吹通マングローブ湿地は、水生動物からみると、流入河川にはRDB記載の4希少種（ミナミオニヌマエビ・コソノヌマエビ・ヤエヤマサワガニ・ヤエヤママガニ）が生息し、流域全体が重要。
484	カピラ川平湾、米原地先沿岸	沖縄県	石垣市	藻場、サンゴ礁	海藻	川平湾～米原地先沿岸	ホンダワラ属、シマテングサの生育地。
					サンゴ	川平湾	裾礁。種の多様性が高い。
					サンゴ	米原	裾礁。種の多様性が高い。
					底生動物	川平湾	極めて多様な内湾環境を持ち、底生動物相も極めて豊富。
485	カピラ湧水および川平の水田	沖縄県	石垣市	湧水地、水田	淡水藻類	カピラ	絶滅危惧 類のオオイシソウモドキ（紅藻）の全国でも希少な生育地（県内唯一）。
486	御神崎～石崎地先沿岸	沖縄県	石垣市	サンゴ礁	サンゴ	御神崎 - 石崎	裾礁。種の多様性が高い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
487	ナグラ 名蔵湾および名蔵川集水域	沖縄県	石垣市	河口干潟のある河口域、マングローブ林、河川、水田、藻場	爬虫両生類	於茂登岳の溪流および湿地	コガタナハナサキガエル(日本固有種)、オオハナサキガエル(日本固有種)、ヤエヤマハラブチガエル、ヤエヤマヒバア(日本固有種)、セマルハコガメ(日本固有種)の生息地。
					昆虫類	桴海於茂登・於茂登山麓白水地区	ヒメイトトンボ、コナカハグロトンボ、ヤエヤマサナエ、ヒメホソサナエ、サキシマヤンマ、イシガキヤンマ、ヒナヤマトンボ、サキシマヤマトンボ、オオキイロトンボなどの生息地。
					水草	石垣島の水田・湿地	ブネラ湿地に代表される河川流域の湿地と圃場整備前の水田はヒメシロアサザ、トリゲモ類はじめ絶滅危惧種が生育。開発の進行で危機的状况のため要注目。
					マングローブ林	名蔵(アンパル)	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林(生態系)の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					海草、海藻	名蔵湾	8種の海草が混生藻場を形成。過去に海草類の生態分布、密度、現存量の季節変化、魚類群落、ベントス群落も調査され、多様性が高い。コエビ類では日本初記録の熱帯出現。熱帯性海草藻場(リュウキュウスガモ・リュウキュウベニアマモ・ベニアマモ・ボウバアマモ・ウミヒルモ・ウミジグサ・ホソバウミジグサ)。ウミヒルモ、ウミショウブの生育地。リュウキュウアマモ。カサノリ群落。
					シギ・チドリ類	網張	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多い。RDB種のセイタカシギ、アカアシシギが記録されている。
					甲殻類	名蔵川アンパルと流域	アンパルはマングローブ樹種と規模と成因・鳥類・魚介類など独特で、重要な湿地である。特に、水生動物では、大型巻貝のキバウミニナや唯一の海産ヌマエビで希少種のマングローブヌマエビの分布北限になっている。流入河川には、RDB記載の6種(イシガキヌマエビ・コツノヌマエビ・ツブテナガエビ・ヤエヤマサワガニ・ミヤザキサワガニ・ヤエヤママガニ)が生息しているので、流域全体が重要。
底生動物	名蔵湾	広大なマングローブ湿地を擁し、底生動物相が豊富。					
488	ミヤラ 宮良湾・宮良川河口域	沖縄県	石垣市	河口干潟のある河口域、マングローブ林、河川	マングローブ林	宮良川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林(生態系)の代表的・固有的な分布地。国天然記念物。
					シギ・チドリ類	宮良湾・白保海岸	春秋の渡り期の種数・個体数が多く、メダイチドリでは最小推定個体数の1%以上、ムナグロ、シロチドリ、キョウジョシギ、キアシシギが0.25%以上記録されている。RDB種のセイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、オオジシギが記録されている。
					淡水魚類	宮良川	キバラヨシノボリ、ヒラヨシノボリの生息地。
					甲殻類	宮良川マングローブと流入河川	宮良川の甲殻類には、国や沖縄県のRDB記載の6種(イシガキヌマエビ・コツノヌマエビ・ミナミオニヌマエビ・ヤエヤマサワガニ・ミヤザキサワガニ・ヤエヤママガニ)と魚類2種(キバラヨシノボリ・タナゴモドキ)が生息しているので、流域全体が重要。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
489	シラホ 白保海岸とその沿岸	沖縄県	石垣市	藻場、サンゴ礁	海草	白保地先沿岸	ウミヒルモ、ウミショウブ、リュウキュウスガモ、リュウキュウアマモ、ボウバアマモの生育地。
					サンゴ	白保	裾礁。種の多様性が高く、希少種を含む。
					シギ・チドリ類	宮良湾・白保海岸	春秋の渡り期の種数・個体数が多く、メダイチドリでは最小推定個体数の1%以上、ムナグロ、シロチドリ、キョウジョシギ、キアシシギが0.25%以上記録されている。RDB種のセイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、オオジシギが記録されている。
490	石西礁湖	沖縄県	八重山郡竹富町	サンゴ礁	サンゴ	石西礁湖	準堡礁。種の多様性が高く、希少種を含む代表的な地域。幼生供給源として重要。自然度が高い。
491	西表島山地水域および平地部天然陸水域	沖縄県	八重山郡竹富町	河川	爬虫両生類	西表島山地水域および平地部天然陸水域	コガタハナサキガエル(日本固有種)、オオハナサキガエル(日本固有種)、ヤエヤマハラブチガエル、ヤエヤマヒバア(日本固有種)、セマルハコガメ(日本固有種)の生息地。
					淡水魚類	西表島の河川	ナガレフウライボラなど亜熱帯性淡水魚類の多様性が高い。特に浦内川ではテッポウウオ、ウラウチフエダイが生息。また、大見謝川、仲間川の支流にはツバサハゼが生息。
					昆虫類	西表島山地水域	溪流性および湿地性の昆虫が多様で、質・量とも豊富である。ヤエヤマハナダカトンボ、ヒナヤマトンボ、イリオモテミナミヤンマ、アシブトカタビロアメンボ、イリオモテケシカタビロアメンボ、フタイロコチビミズムシ、ヒラシマナガレカタビロアメンボ、ケシミズカメムシ、トゲミズギワカメムシ、アトホシヒラタマメゲンゴロウ、ヤエヤマコオナガミズマシ、ヤエヤマアシナガミゾドロムシなど多くが八重山諸島固有の水棲昆虫類が豊富に生息している。ヒメシュモクバエ、メダカチビドロムシなど水辺の種、ベニジョウカイ、ヒメヤツボシハンミョウなど森林性の種をはじめとして、多くの種が豊富に生息する。
492	大正池付近	沖縄県	八重山郡竹富町	湖沼	昆虫類	大正池付近(大富林道)	ホソアカトンボ、オオハラビロトンボ、キヒロハラビロトンボ、コフキオオメトンボ(1996年以降定着か?)、オオメトンボ、アメイロトンボ、ミナミトンボ、リュウキュウカトリヤンマ。
493	ナカマ 仲間川	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ林、河川	マングローブ林	仲間川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林(生態系)の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。国天然記念物。
					淡水魚類	西表島の河川	ナガレフウライボラなど亜熱帯性淡水魚類の多様性が高い。特に浦内川ではテッポウウオ、ウラウチフエダイが生息。また、大見謝川、仲間川の支流にはツバサハゼが生息。
					甲殻類	仲間川マングローブと流入河川	仲間川やその支流にはRDB記載の3希少種(コツノヌマエビ・ショキタテナガエビ・ヤエヤマサワガニ)が生息しているため、流域全体が重要。また、近年、仲間川支流から新種らしきカワリヌマエビの一種も発見されている。
					底生動物	仲間川河口～後良川河口～前良川河口	日本で最大級のマングローブ湿地を擁する。マングローブ湿地固有の底生動物の種の多様性大。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
494	シイラ 後良川・アイラ 相良川・マイラ 前良川	沖縄県	八重山郡竹富町	マングロー ブ林、河川	マングローブ林	後良川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					マングローブ林	相良川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					マングローブ林	前良川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					甲殻類	後良川・前良川マング ロ-ブと流入河川	両河口のマングローブ域にはシオマネキ類・コメツキガニ類・イワガニ類・ワタリガニ類・オウギガニ類・ヤドカリ類・アナジャコ類などほとんどの汽水域性のカニ類が生息している。特に、河口部の外干潟では、干潮時にヒメシオマネキとミナミコメツキガニの大群が見られる。このマングローブ湿地は、古見集落の民謡でシオマネキ類・クマドリオウギガニ・ノコギリガザミ類などを歌った「ヤクジャマ節」の発祥の地でもある。また、流入河川には、RDB記載の希少種のエビ類(コツノヌマエビ・ミナミオニヌマエビ・ショキタテナガエビ)やサワガニ類(ヤエヤマサワガニ・ヤエヤマヤマガニ)が生息している。
			底生動物	仲間川河口～後良川河 口～前良川河口	日本で種の最大級のマングローブ湿地を擁する。マングローブ湿地固有の底生動物の種の多様性大。		
495	ユブ 由布島および干潟	沖縄県	八重山郡竹富町	マングロー ブ林	マングローブ林	由布島および干潟	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
496	小浜島（細崎 - アカヤ崎）	沖縄県	八重山郡竹富町	マングロー ブ林	マングローブ林	細崎 - アカヤ崎	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤブシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
497	船浦湾と流入河川	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ林、河川	マングローブ林	船浦湾	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、ニッパヤシの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					甲殻類	船浦湿地と流入河川	船浦湾には大小3つの河川(西田川・ヒナイ川・ヤッサ川)が流入し、マングローブがよく発達している。特に、ニッパヤシは船浦が分布北限になっている。その林内・水路・外干潟には熱帯系の魚類が多く、満潮時にはサメやエイの仲間も回遊してくる。林内やその周辺には国や沖縄県のRDB記載の5種(マングローブヌマエビ・シモフリシオマネキ・ヒラモクスガニ・イリオモテメコブシガニ・ヤシガニ)が生息している。また、流入河川と周辺陸域には国や沖縄県のRDB記載の5種(コツノヌマエビ・ショキタテナガエビ・ヤエヤマサワガニ・ヤエヤマヤマガニ・ヤシガニ)や天然記念物の4オカヤドカリ類(オカヤドカリ・ナキオカヤドカリ・オオナキオカヤドカリ・コムラサキオカヤドカリ)も生息しているため、流域全体が重要。
					底生動物	船浦	広大なマングローブ湿地を持ち、湿地内にはキバウミニナが高密度に生息。干潟域にはカニノテムシロやタテジマコムシが多数生息。
498	浦内川	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ林、河川	マングローブ林	浦内入江（浦内川）	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					淡水魚類	西表島の河川	ナガレフウライボラなど亜熱帯性淡水魚類の多様性が高い。特に浦内川ではテッポウウオ、ウラウチフエダイが生息。また、大見謝川、仲間川の上流にはツバサハゼが生息。
					甲殻類	浦内川マングローブと流入河川	浦内川の汽水域には周縁性魚類や甲殻類が多く、淡水域には希少種や危急種に該当する甲殻類やハゼ類が生息しているため、流域全体が重要。特に、マングローブ水路には南方系のテッポウウオやウラウチフエダイなど、河川上流部には河川陸封性のショキタテナガエビやコツノヌマエビおよびヤエヤマサワガニなど、それぞれ貴重種が生息している。
					底生動物	浦内川河口	マングローブ湿地固有の底生動物が豊富。ノコハオサガニが潮間帯で見られる日本唯一の場所。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
499	西表島南西部海域および河口域	沖縄県	八重山郡竹富町	マングローブ林、砂浜、藻場、サンゴ礁	ウミガメ	西表島南西部海域	八重山諸島でも最もアオウミガメが多く生息する海域で、湾奥の藻場を餌場としていることが解っている。自然度も高い。西表島の南岸、特に通称タカハマ、ワカレハマと呼ばれている砂浜は、西南諸島では最もアオウミガメが高密度で産卵する砂浜である。また、道路や集落等は全くなく極めて自然度の高い場所だと思われる。その沖合いには、礁原が広がっている。
					サンゴ	崎山湾	種の多様性・自然度が高い。
					海草	崎山湾	ウミシヨウブの純群落。
					海草	網取湾	リュウキュウスガモ、リュウキュウアマモ、ウミシヨウブの群落。
					サンゴ	網取湾	種の多様性が高く、希少種を含む。
					マングローブ林	アヤンダ川	メヒルギ、オヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					マングローブ林	ウダラ川	メヒルギ、オヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
					マングローブ林	クイラ川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。
マングローブ林	仲良川	メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。					
500	与那国島の湿地・河川	沖縄県	八重山郡与那国町	河川、その他の湿地	昆虫類	比川付近、樽舞湿原	カタブル浜奥にある東西約1 km の湿地で、トンボ類をはじめとして、水生・半水生昆虫が多数生息している。半翅類昆虫ではエサキタイコウチ、湿性植物を寄主とする種など、独特の相を示している。
					淡水貝類	比川湧水地	ヨナクニカタヤマガイ（絶滅危惧 類）、オキナワミズゴマツボ（絶滅危惧類）の生息地。マメシジミ類も生息。
					昆虫類	与那国島田原川・祖納	アカナガイトンボの生息地。絶滅危惧 類のトゲアシアメンボが周縁部に生息し、沖縄県のRDB記載種であるタイワタガメの採集記録もある。
					淡水貝類	田原川	ヨシカワニナ・スグカワニナ（絶滅危惧 類）、カノコガイ類の生息地。
					爬虫両生類	久部良岳山腹の湿地・河川	ヨナグニシュウダ（日本固有亜種）、ミヤラヒメヘビ（日本固有亜種）の生息地。